



月山朝日観光協会イメージ
キャラクター「ガッさん」

NETWORK

にしかわ

2022

令和4年

8月号

No.797



- 主な内容 -

P2 | 西川町総合政策審議会を開催

P7 | 西川町消防団が最優秀消防団に!

P15 | 役場で手軽にマイナンバーカードが作れます!

第6次総合計画策定時目標数値に対する現在値

(1)互いに協力し健やかに安心して暮らせるまちづくり

目標項目	計画策定時	目標 (R5)	現 状
平均寿命	男 79.6歳	男 82.2歳	男 80.9歳
	女 86.5歳	女 89.0歳	女 86.9歳
介護認定率	18.7%	22.0%	18.5%
健康診断受診率 (特定健診)	56.5%	70.0%	57.2%
節目健診受診率	-	100.0%	35.8%
IJUUターナー者数	24人	50人	2人

(2)総合産業が織りなす活力と賑わいと雇用をつくるまちづくり

目標項目	計画策定時	目標 (R5)	現 状
町民所得 (人口一人当たり)	199万円	215万円	225万円
産業総生産額 (第1次)	3億6,600万円	5億円	4億3,500万円
産業総生産額 (第2次)	33億3,700万円	50億円	32億2,500万円
産業総生産額 (第3次)	80億9,300万円	99億円	114億300万円
産業生産額 (食産業関連)	18億9,200万円	22億円	13億9,600万円
町内購買指数	16.3%	30.0%	24.7%
観光施設等入込客数	658,112人	940,000人	491,529人
宿泊客数	44,914人	60,000人	43,265人
花木生産量 (啓翁桜)	-	72万本	28万本
木材素材生産量	-	15,000m ³	10,000m ³
山菜きのこ出荷量	40.0t	70.0t	38.3t

(3)住み慣れた地域で心豊かな人と文化を育むまちづくり

目標項目	計画策定時	目標 (R5)	現 状
歴史文化資料館入館者数	-	2,500人	1,057人
「ひとり1趣味、1スポーツ」人数	668人	2,000人	702人

(4)子どもや若者の笑顔があふれ女性がいきいきするまちづくり

目標項目	計画策定時	目標 (R5)	現 状
若者の町内定着率	57.7%	100.0%	43.8%
プライダルサポート事業による婚姻者数	-	4組	0組
合計特殊出生率	-	1.45	1.23
女性の町役職定着率	18.9%	30.0%	12.7%



西川町ホームページ

◀西川町総合政策審議会の当日の資料や会議の録画は、こちらの二次元バーコードからご覧ください。

している大人にも原因がある。働く場所もなければ子どもは残らない。何と何が繋がっているのかを議論すべきである。

【回答】一連の繋がりがこれまで町として弱かった。今後町民の皆さんとの対話を通じていく中で職員も意識していきたい。情報もターゲットに届くよう改善していく。

【提案】カヌーの町としているにも関わらずカヌーを業とする受け皿がない。カヌーを続けてきた子どもたちが町に戻っ

た時に活躍できるレジャーカヌーを受け入れることは重要と考える。

【問】県内でも学童保育がないのは西川町だけである。小学校統合して10年経ってもなぜ学童保育に移行しないのか。学童保育との違いは、子育てと家庭支援、保育支援、障がい児支援まで担うのが学童保育である。

【回答】本町では、学童保育ではなく、子ども教室という形態で放課後の児童の見守りを行っており、今後も継続していき

西川町の未来のために

西川町総合政策審議会を開催



第7次西川町総合計画策定に向けて

町の総合計画などについて有識者からの意見を求める「西川町総合政策審議会」が6月26日に役場第二庁舎で開かれました。今年度より新たに委嘱した13名の委員と町幹部職員などが参加し、はじめに菅野町長より下平裕之会長（山形大学人文社会科学科教授）に対し第7次総合計画策定の諮問がなされ、その後活発な議論が展開されました。

第6次総合計画の成果実績について

平成26年度からの第6次総合計画のこれまでの成果実績について、主な議論の内容をご紹介します。

【問】関係人口の把握はどのようにしているのか。

【回答】公式LINEの参加者500人、インスタグラム500から600人、フェイスブック3000人であるが、町からの発信力が弱い。西川町の弱点の一つだと思つた。

【問】地域づくりの具体的な体制はどうなっているのか。

【回答】町内には12の区があり、コロナの影響もあり地域の自治活動（盆踊りやビアガーデンなど）が難しくなっている。また、地域を守るための共同作業も維持

できないようになってきている地域もある。マンパワーの確保を関係人口と合わせて考えていきたい。人口が減っても生き生きとした生活ができるかが重要である。

【問】観光客数などの数値が伸び切らない。政策的にどうやって牽引役をどう担ってきたのか。観光をどう考えてきたのか。交流人口を目標として町を活性化するならば、観光客の目線での公共交通の在り方も必要だ。現在は非常に弱い。

【回答】これまではしっかりとしたターゲットも牽引役も決まっていなかった。これからは富裕層と若者をターゲットにしていく。稼ぐまちになるために。

【問】総合産業とは何か。わかりやすいようにわからない。農業と観光をきちんと磨けば2次、3次、食産業もしっかりとしたものになる。

【回答】総合産業は6次産業プラス販路を確立しどう販売していくかである。

【問】総合計画の目標数値が現状とかけ離れている。啓翁桜の計画は適正な数値か。

【回答】34ヘクタール確保すれば目標に達する見込み。植栽してすぐには生産に至らない。

【問】行政が婚活事業に手をかけるのはコストをしっかりと見直す必要がある。人口が減っているのは率先して外に送り出

たい。学童保育ではできて、現在の子ども教室ではできていないことがあれば検討しなければならぬが、地域の方々に協力いただいて充実した活動が行えている。

第7次総合計画の策定方針について

第6次総合計画は令和5年度までの計画ですが、町長の交代により今年度中に策定し、令和5年度より新たな計画に基づきまちづくりをスタートさせることとしました。計画期間を8年とし、町長公約と総合計画の重点施策との整合性を図り、町民アンケートやまちづくり町民会議における意見・提案をもとに策定していきます。

西川町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

今年度、初めて町単独での地方創生推進交付金（国庫補助金…補助率1/2）を申請し、AI技術を活用した周遊型「謎解き」ゲームの制作と複業人材活用事業承継支援を実施していきます。

今年度は、今後2回（11月・2月）の総合政策審議会を開催し、令和5年3月に第7次総合計画策定を目指すことを確認しました。

「われら、西川ファン！～関係人口の方々～」

「稼ぐまちとなるため、西川応援団」また「観光客以上に西川を好きだけど、移住まで難しい」方々を「関係人口」といいます！この「関係人口」構築とその活用がこれからの西川活性化のカギを握ります。

①中田 照夫さん(奈良中央信用金庫常務理事・写真左)

金融庁時代からの縁で、3泊4日で西川にお越しいただきました。お話をしていると、吉川で牛を肥育している福寿館(本社：奈良県橿原市)が取引先とのこと！西川らしいブランド牛を立ち上げようと、奈良中央信用金庫さんと福寿館さんと考えています！中田さん、熱いです！



②小野 千春さん(東京で飲食店経営(睦合出身))

西川に、トレイルランナーをたくさん連れてきてもらっています。また、自らキッチンカーを走らせ、西川を盛り上げに来てもらっています。いつもありがとう！



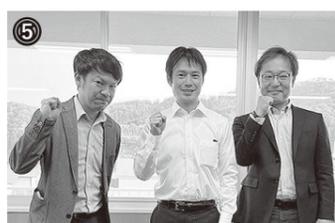
③川本恭治さん(城南信用金庫理事長・写真左)

240ある信用金庫をまとめる事務局を担う城南信用金庫の理事長。西川産山葡萄酒で、ビール造りにチャレンジする事業を協働します。



④山口盛雄さん(山形信用金庫理事長・写真右)

山形市の山形信用金庫さんのご協力を得て、支店で、西川町のPRチラシなど広報ブースを設置していただけるよう調整しています。



⑤久能雄三さん(株クノウ社長・写真左)・倉本剛さん(かばんのエース・写真右)

数多くの複業人材を知る久能さんは、西川の企業に合う方々を紹介いただけます。複業人材の倉本さんは、福島での農家支援を契機に何度も福島にお越しになっています。複業人材は、きっかけをつかむと、すぐにその町の関係人口になりやすいです。



⑥吉岡優一さん(株日建設計)

日建設計さんは、銘水館でのサウナ事業や移動式サウナ事業にご協力いただいています。



⑦林伯修先生(台湾師範大学・写真中央)

7月6日に西川にお越しいただきました！今年度は台湾から多くの学生を引き連れてお越しいただきます。



菅野大志の「いどばた会議」

vol.3

まちづくりに関する活動や近況などを西川町長・菅野大志が綴ります。

最近暑い日が続いていますが、元気で明るいニュースを町民の皆さまにお届けできております！

1 明るいニュース！熱意とスピードで！

○8年ぶりの企業誘致！「(株)朝日相扶製作所」が間沢の東北コーオン跡地に！
庄内銀行と対話を重ね、熱意と早い判断が功を奏しました！(株)朝日相扶製作所さんは、海外輸出する家具製造会社！来春までに新素材生産を開始。20人程度の雇用が必要とのことです！
○山の日特番！月山のオール西川2時間番組が放送されます。

「つるの剛士」さん、「金子貴俊」さんを迎え、町民の皆さんと共におもてなし。一緒に月山を登りました！当初は、鶴岡(羽黒)から登る番組でしたが、商工観光課が熱意を持って対応し、西川だけの2時間番組に！8月20日(土)14時から「さくらんぼTV」で放送されます！お見逃しなく！
○来年度の「日本蘚苔類学会」総会の誘致に成功！
来夏に開催される「日本蘚苔類学会」、熱意とスピードで誘致に成功しました！西川町は、長い期間、雪に閉ざされ、苔に

とってはとても暮らしやすい町のようなです。銘水館や大井沢伝承館では苔玉が展示され、弓張平公園では苔の道を見ることが出来ます！



▲弓張平公園の苔の道

2 絶好調！外の力をフル活用！

○企業版ふるさと納税制度を使った寄附が好調！昨年度の実績は1件。
今年度は、神奈川のヒカリ(株)、福島の(株)クノウなどから、企業版ふるさと納税をいただきました。
現在も東京と、熊本の企業4社と交渉中です！
○外部との連携強化も次々と！
●東京の城南信用金庫が事務局を担う「よい仕事おこしネットワーク」と連携協定締結。200を超える信用金庫とその取

引先に西川の特産物を販売していきます！
●設計大手「(株)日建設計」さんと連携を模索！移動式サウナの設計をご提案いただけそうです。
●西川町アドバイザー「近藤威志」さん、西間沢・吉川稲沢の空き家を借りたり、下堀でお母さんグループと駄菓子屋さんづくり。

3 今月の対話！

○西川町の長期計画づくりのための町民ワークショップに町民79人の方に応募いただきました。政策推進課を中心に、役員も加わり、100名規模で話し合いを重ねています。
○大井沢区にお招きいただき「すっだいこと」をお聞きしました。課題の多さに苦しくなるも、1つ1つ解決していかなくては！と思えました。今後、7月22日は海味区に、秋には、梅沢区の対話にお招きいただいております。
○町営バス乗車率向上へ！7月28日、バスミーティングを開催しました。
バスミーティングは、地域のサロンにもお邪魔して随時意見交換をしています。
○西川町総合開発(株)も対話を開始しました。

デジタル社会を生きる子どもたちのために ～西川町GIGAスクール構想について～

今月の担当：学校教育課

町の各事業や取り組みについてご紹介します。



G

GIGAスクール構想とは、国で子どもたちが情報通信技術（ICT）を積極的に活用して主体的に考え、新たな課題の解決などに取り組むために必要な資質・能力の育成を目指して、掲げている構想です。

西川町においても、令和3年度より一人一台の端末（タブレット）を整備し、貸与しています。従来の教科書や鉛筆、ノートなどと同様に学習用具の一つとして活用していくことが重要であり、学校や家庭での活用で期待できることは、次のように考えられています。

- ① 教師は授業中でも一人ひとりの反応を把握でき、双方向型の一斉授業が可能に。
- ② 各人が同時に別々の内容を

学習し、それらの学習履歴を記録することで、一人ひとりの教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習が可能に。

③ 一人ひとりの考えをお互いにリアルタイムで共有することで、多様な意見にすぐに触れることができ、子ども同士の双方向の意見交換が可能に。

●西川小中学校での取り組み

現時点では、調べ学習で課題や目的に応じてインターネットなどを用い、様々な情報を収集、整理、分析したり、写真・音声・動画などを用いた多様な資料や作品を製作したりすることができま

す。遠隔教育として、新型コロナウイルス感染症などで出席できない場合でもオンライン学習を行ったり、他の教育機関や専門家、

海外の人々に学んだりすることも可能になりました。デジタル教科書も段階的に導入を進めており、読み上げ機能や動画視聴など学習効果を高める取り組みを試行しています。

●タブレット家庭学習デー

一ヶ月に一度程度、各家庭での通信環境の整備などについてご理解いただきながら、端末を活用した学習を進めています。各学年の発達段階に応じて、ドリル学習を行ったり、リモート学習を行ったり



して、子どもたちや先生方のスキルアップが進んでいます。

●今後の課題

通信環境や端末は一定の整備が完了していますが、町全体の高速通信環境の整備や周辺機器・学習ソフト・デジタル教科書の導入など、今後も環境の整備を継続していく必要があります。また、授業での活用方法については、先生方にも研究を深めていただく必要があります。

子どもたちが生きていく社会は、Society 5.0と呼ばれる今の情報社会とは違った仕組みになっていくことが想定されています。変化の激しい時代に、自分らしく、たくましく生きる素地を養うことができるよう取り組んでいきます。

●お問い合わせ

学校教育課教育総務係
☎ 0237・74・2114

最後の操法大会で有終の美 西川町消防団が最優秀消防団に！

令和4年度山形県消防協会西村山支部消防操法大会の結果



1



2



4



3



6



5

1 5 6
小型ポンプの部に出場した入間消防団(第3分団第3部)

2 3 4
ポンプ車部に出場した吉川消防団(第1分団第2部)



小型ポンプの部 優良賞 入間消防団



ポンプ車の部 優勝 吉川消防団

最後となる大会で 見事な操法技術を披露

朝日町「創遊館」駐車場で7月24日、令和4年度山形県消防協会西村山支部消防操法大会が開催され、西川町消防団が見事に最優秀消防団に輝きました。この大会は、消防団員の操法技術の向上と士気高揚を図り、有事に備えることを目的に実施されています。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となった今大会、本町からはポンプ車の部に出場しました。両消防団ともに約一ヶ月半にも及んだ早朝訓練の成果を発揮し素晴らしい操法技術を披露しました。

また、消防団員の負担軽減などを理由に、本大会は今回が最後の開催となります。

操法大会の結果

- 【ポンプ車の部】
吉川消防団 優勝
- 【小型ポンプの部】
入間消防団 優良賞
- 【総合成績】
西川町 最優秀消防団

～おめでとうございます～ Congratulations!

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。

教育活動に尽力 清野潤一郎さんが瑞宝双光章を受章

このたび、長年教育活動に尽力された清野潤一郎さん(海味)が「瑞宝双光章」を受章されました。瑞宝双光章は公共的な業務に長年従事し、功績のあった方に贈られるものです。

清野さんは昭和32年4月に西川町公立学校教員に任命され、中学校教諭、教頭として32年、小学校長として6年の計38年間、長年に亘り教育活動に取り組みました。

清野さんは自身の教員生活を振り返り、「特に印象に残っているのは平成元年4月から平成5年3月まで校長を務めた水沢小学校での校舎改築工事。生徒に創造的学習をさせたいとの思いから、多目的学習のためのワークスペースを導入した。地域の方が校舎を使うことを想定してピロティにもトイレを設置した。ほかにも工夫したところは沢山ある」と当時の思い出を話してくれました。



▲清野潤一郎さん

元統計調査員の長年の尽力に対し 連合会から感謝状を贈呈

6月16日、元統計調査員の金子恵一郎さん(大井沢)、志田義郎さん(大井沢)、故尾形徳男さん(水沢)に対し、村山地区統計調査員協議会連合会から感謝状が贈呈されました。

金子さんは45年の長きに亘り、統計調査員として活躍されました。志田さんは24年間統計調査員を務められ、うち14年間は町統計調査員協議会の会長としてご尽力いただきました。今年3月にご逝去された尾形徳男さんは昭和45年からの52年間、統計調査員を務められました。令和3年度は町統計調査員協議会の会長としてご尽力いただきました。



▲金子恵一郎さん



▲志田義郎さん

町スポーツ推進委員

古澤芳夫さんに県協議会表彰

町スポーツ推進委員として、長年スポーツの普及に取り組んで来られた古澤芳夫さん(岩根沢)のこれまでのご尽力に対し、このたび県スポーツ推進協議会から表彰状が贈呈されました。



▲古澤芳夫さん

英字紙・ジャパンタイムズ「食文化貢献レストラン」 山菜料理 出羽屋(間沢)が東北で唯一選出

食文化の発展に貢献する地方のレストラン10店を英字紙・ジャパンタイムズ(東京)が選ぶ「デスティネーションレストラン2022」に、本町間沢の「山菜料理 出羽屋」(佐藤治樹社長が東北地方から唯一選出されました。選定は昨年と同紙が行っており、今回が2回目の開催。国内外で活躍する食文化の有識者3人が東京23区と政令指定都市以外の地方のレストランや料亭を巡り、地域の食文化を支える優れた飲食店が選ばれました。

受賞された山菜料理出羽屋は、町内産の山菜やキノコなどを使った昔ながらの調理法の料理を続け、4代目の佐藤社長は2020年から客席の前で調理する取り組みを開始。提供時には若女将で妻の悠美さんとともに食材にまつわる歴史などを紹介し、地域の食文化の発信に注力されてきました。

表彰式は6月21日に東京都で開催。受賞に対し、佐藤社長は『山と共に生きる』をモットーとしている。自分たちだけではなく、生産者や来店者とともに取り組んだことを評価していただき嬉しい、悠美さんは「温故知新の精神で、食文化を未来へと繋いでいきたい」と話してくれました。



▲表彰式会場にて佐藤社長ご夫妻と菅野町長

図書館さ、いぐべ～。

【お問い合わせ】
西川小学校図書館 ☎0237-85-0077

8月のおはなし会のお知らせ

- 日時：8月20日(土)10時30分から
- 内容：①えほん
「めがねめがね」
「しろくまのパンツ」
「まどのむこうのくだものなあに？」
- ②おはなし
「カラスのおやこ」
- ③かみしばい
「ふしぎなしゃもじ」
- ④こうさく

※新型コロナウイルス感染防止対策を実施したうえで開催いたします。

怖い本2022夏 開催中!

山形県在住のホラー作家、黒木あるじさんをはじめ、名だたるホラー作家さんの本を展示貸出しています。蒸し暑い毎日ですが、鳥肌が立つような怖い本を読んで涼んでみませんか。期間は8月末までの予定です。



ねいねいひろば

保育目標

- 雪のようにきらきら輝く子 ●緑のようにやさしくあったかい子
- 太陽のようにつよくたくましい子



▲採れたてのじゃがいもでポテトチップスづくり



▲夢中になって工作をする園児たち

保育園コーナー

「人権擁護委員の皆さんとじゃがいも掘り！」

7月29日、年長児が人権擁護委員の方と一緒にじゃがいも掘りを行ったのち、調理実習を行いました。今年は採れたてのじゃがいもを使ったポテトチップスづくりを楽しみました。

「いらなくなったものを使って思い思いに製作活動！」

子どもたちのひらめきで、段ボールが色々な物に変身します。保育室の中も、子どもたちのアイデアがひらめくように工夫されています。



▲願い事を書いた短冊

▲七夕飾りづくりを楽しみました

ぽっかぽかコーナー

「子どもたちと一緒に楽しみながら…」

七夕・作るべえの日

一人ひとり願いを込めて、七夕飾りをつくりました。つくった笹飾りはお家に飾り、七夕の夜を家族で楽しみました。

なつまつりごっこ

ぽっかぽかに縁日ができました。くじ引きと、千本引きの駄菓子屋さん。3日間の出店の期間に夏祭りの雰囲気を楽しみました。



▲3日間限定の縁日を楽しみました

健康運動指導士・伊藤貢先生の

元気アップ！ 運動講座 PART291



伊藤 貢さん

今月のテーマ：

運動は骨粗鬆症の予防にも繋がります。 運動で骨を鍛えましょう！

私

私たちの体の骨は、古い骨を壊し、新しい骨を常に作り直すという新陳代謝（骨代謝）を繰り返して、強度を保っています。骨粗鬆症は、この骨代謝のバランスが崩れ、作る（骨形成）よりも壊す（骨破壊）が上回る状態が続き、骨がもろくなり、骨折しやすい状態と言われています。骨粗鬆症の予防には、カルシウムの摂取とビタミンDを体で合成するために必要な日光浴に加えて、ウォーキングや筋力トレーニングなど、骨に刺激が加わる運動が推奨されています。また、運動は、全身の筋力維持・向上、バランス機能の向上、関節可動域の向上、柔軟性の向上など沢山の効果が期待でき、これにより転倒のリスクが下がり、間接的に骨折などのリスクを下げる事にも繋がると言われます。

毎週水曜日の14時～15時30分、西川町民体育館で「楽楽運動教室（奇数週）」「ゆる楽運動教室（偶数週）」を定期的に開催しています。教室では、体ほぐし・筋力トレーニング・有酸素運動など様々な運動を行っています。一緒に楽しく体を動かし、良い体を目指しましょう。そして、元気でイキイキとした毎日にしていきましょう。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

参考・引用資料

- 骨粗鬆症予防のための運動 骨に刺激が加わる運動を厚生労働省生活習慣病予防のための健康情報サイト・e-ヘルスネット <https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/exercise/s-05-001.html>
- 骨粗鬆症 厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイト・e-ヘルスネット <https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/dictionary/food/ye-043.html>
- 口術誌Jpn. J. Hyg. 153:328-337(2003) 特集:高齢者の骨粗鬆症予防 運動身体活動改善による骨折・骨粗鬆症予防のメカニズム 吉村典子 https://www.jstage.gst.jp/article/jj1546/383/328_328.pdf
- 重要副作用疾患別対応マニュアル 骨粗鬆症 <https://www.nhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/hp1122-m09.pdf>

背中筋力をつけましょう!!

～無理のない範囲で10回繰り返し。できれば2セット!～



運動①
しっかり腕を伸ばして、バンザイをしましょう。



運動②
上から何かを引っ張るイメージで、しっかりと肘を引き下げ、肩甲骨を寄せましょう。
運動①②を繰り返します。

※痛みは体からの赤信号のサインです。体に痛みを感じたときは運動を中止してください。関節可動域制限のある方は無理のない範囲で運動を行ってください。

西川町保健センター

まちの保健室より

町の保健師・管理栄養士からのお知らせです



■ 8月は食品衛生月間です!

気温が高くなる7月～9月は1年の中でも特に食中毒が発生しやすい季節です。食中毒を防ぐには「食中毒予防の3原則」を守ることが大切です。食事をテイクアウトする際は、すぐに食べるようにしましょう。すぐに食べない時は冷蔵庫に保存するなど、長時間常温で放置しないように気をつけましょう。



■ 食中毒予防の3原則

- 「つけない」⇒①十分な手洗いで菌の付着を予防しましょう
- 「ふやさない」⇒②低温保存で菌を増やさないようにしましょう
- 「やっつける」⇒③食品の中心まで十分に加熱しましょう



手をきれいに洗おう



常温放置しない
冷蔵庫に入れる



しっかり加熱!

8年ぶりの企業誘致が実現！ 工場跡地に(株)朝日相扶製作所が進出

高級家具製造の(株)朝日相扶製作所(朝日町/阿部佳孝代表取締役)が、町内に新たに事業所を開設することになり、7月22日、同社と町、(株)荘内銀行(鶴岡市/松田正彦代表取締役頭取)の三者で立地協定が締結されました。

同社は、農村の出稼ぎ解消を目指し「相互扶助」を掲げて

1970年に創業。現在は、自社ブランドをもたず他社のブランド製品の製造に徹しながら、国内外80社の椅子やテーブルなど木製家具の製造を手がけています。

このたび、プラスチックに代わる新素材の開発など事業の拡張に伴い、同行の伴走支援を受けながら町内への進出を決め、来春までに操業を開始する予定です。

本町においては、前回の平成26年から約8年ぶりの企業誘致になります。



今後、積極的に金融機関との連携を強化し、企業誘致や創業支援、事業承継など産業おこしを支援するとともに、地域経済の振興を図っていきます。

特産品開発や販路拡大に向けて 町と全国信金組織が協定締結

町と「よい仕事おこしフェア実行委員会」が7月17日、包括的連携協定を締結しました。本実行委員会は、城南信用金庫(東京都/川本恭治理事長)が事務局となっており、全国の信用金庫が協賛しているウェブサイトを「よい仕事おこしネットワーク」を運営しており、首都圏と地方の事業者や自治体を結びつける取り組みや企業間のマッチングなどを行っています。

町では今後、同実行委員会と連携し、町内産品の販路拡大

や町産の牛肉の新たなブランド化、こくわの商品開発などに取り組んでいくこととしています。



▲よい仕事おこしフェア実行委員会と協定を締結

俳優のつるの剛士さん・金子貴俊さんが 菅野町長とともに月山へ

「山の日」全国大会山形開催を記念した番組制作のため、7月8日、俳優のつるの剛士さんと金子貴俊さんが月山登山に挑戦しました。今回の撮影には、多くの町民の皆さんにもご協力いただき、菅野町長も登山に同行するなど、西川町が中心の内容になっています。番組は8月20日にさくらんぼTVで14時から16時まで放送される予定です。

持続可能な地域交通の運行に向けて 路線バスミーティングを開催

7月28日に「路線バスミーティング」を開催しました。

普段から路線バスを利用する方々や保護者など33名から参加いただき、利用率を上げてこの先も継続して運行できるように意見をいただきました。

意見の中には、乗合タクシーにおける保育園登降時の利用緩和などがありましたが、安全確保などの理由から現時点では対応できない旨を説明し、納得していただきました。今後もこのような対話を続けていきます。

次号はこれらを整理してご報告いたします。貴重な時間を町政のために割いていただきありがとうございます。お問い合わせ

町民税務課生活環境係
0237-74-4118

- ◆町内路線と予約型乗合タクシー
(通院や買い物のために運行しています。)
- ・大変助かる。
- ・通院からの帰りの時間を予測するのが難しい。
- ・東部ルートの使用は難しい。
- などのご意見をいただきました。



▲路線バスミーティングの様子

道の駅にしかわの魅力向上のため 専門家を変えてミーティングを開催

道の駅にしかわレストランにおいて7月27日、道の駅への愛着や利用の向上を目指して町民の皆さんとの対話を行いました。

今回は、町民の40代から60代までの13名から参加いただき、道の駅の不採算部門となっているレストランを立て直すため、飲食店の専門家を交え、日頃道の駅レストランに対して抱いている思いや期待している事、レストランの新たなメニューなどについて意見交換を行いました。町と西川町総合

開発(株)では、今後もこのミーティングを続け、参加していただいた町民の皆さんが、自分に関わった道の駅として愛着を持ち来ていただけるよう取り組んでいきます。

また、ミーティングで出された意見をもとに、大井沢区と繋がりがあり東京三軒茶屋を中心に9店舗の飲食店を経営されている「(株)和音人(わいんびと)」がメニューを開発する予定です。



▲道の駅ミーティングの様子

皆さんの周りの身近な話題をお寄せください。政策推進課情報推進係
0237-74-4403 joho@town.nishikawa.yamagata.jp



▲メール送信

役場で手軽にマイナンバーカードが作れます！

まだマイナンバーカードをお持ちでない方は、役場窓口で申請することによって、マイナンバーカードを作ることができます。国では、全国民が令和5年3月末までにマイナンバーカードを取得することを目標としています。そのため、西川町でもより多くの町民の方にマイナンバーカードを作っていただけるよう、お手続きのご案内を行っています。



必要書類を持って
役場へGO！

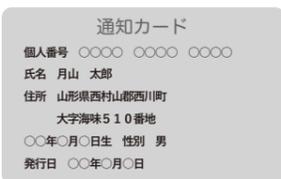
申込場所 西川町役場（1階・町民税務課窓口）

受付時間

平日 午前8時30分～午後5時15分（事前予約が必要です）
 夜間（窓口の時間外延長）原則月曜日のみ開設、月曜日が祝祭日の場合は翌日です。
 午後5時30分～午後7時（土日・祝日を除く）当日午後4時まで予約してください。
 日曜窓口 8月21日・28日 午前8時30分～午前11時30分（事前予約が必要です）
■担当：町民税務課 町民窓口係 / TEL：0237-74-4118 ※土日祝は受付不可

持ち物

- 本人確認書類（運転免許証・学生証など顔写真入りのもの1点）
※顔写真入りのものがない方は2点必要です。
（例：健康保険証＋子育て医療証、健康保険証＋介護保険証など）
- 通知カード（役場に返却していただきます）
※紛失した方はその旨申し出てください。
- 住民基本台帳カード
（お持ちの方のみ。役場に返却していただきます）
- 顔写真 1枚（縦4.5cm × 横3.5cm）
※窓口で撮影します。



その他

原則本人による申請が必要であり、代理の方の申請はできません。
 ※申請方法についてご不明な点がある場合は、お手数ですが上記担当課までお問い合わせください。

9月末まで マイナポイントキャンペーンについて

●マイナポイントの申込・利用

マイナンバーカードを使って予約・申込を行い、選んだキャッシュレス決済サービスでチャージやお買い物をすると、そのサービスでご利用金額の**25%**分のポイントが受け取れます。お一人あたり5,000円分までのポイントが上限額となっています。
 また、公金受取口座登録や健康保険証として利用できるように設定を行うと、それぞれ7,500円分までのポイントを受け取ることができます。
 ※現在、役場ではマイナンバーカードを取得していただいた方に、マイナポイントの受け取り手続きをお手伝いさせていただいております。マイナポイントを受け取るために必要なマイナンバーカードの申請期限は、令和4年9月末までとなりますので、マイナポイントを受け取りたい方は申請期限までにマイナンバーカードを作成してください。

皆さんの周りの身近な話題をお寄せください。
 政策推進課情報推進係
 ☎ 0237-74-4403
 ✉ joho@town.nishikawa.yamagata.jp



▲メール送信

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

VOL.2

命の大切さを伝えるために… 「人権の花運動」で園児じゃがいも掘り

にしかわ保育園の畑に植えられたじゃがいもが収穫の時期を迎え、7月29日、年長児が人権擁護委員の皆さんと一緒にじゃがいも掘りを行いました。

この活動は植物の命を育てることで子どもたちに命の大切さを伝えることを目的に行われている取り組みです。子ども



▲たくさんのじゃがいもを収穫

寒河江川の環境保全のために 網取地区河川敷でボランティア作業

網取地区の寒河江川河川敷で7月8日、山形県建設業協会西村山支部青年部の皆さんによる草刈りなどのボランティア作業が行われました。同部では本町の自然豊かな景観を守るための取り組みとして、毎年作業を実施しています。当日は約15人が参加し、約500mの区間で草刈りなどを行いました。同部長の後藤吉裕さん（後藤建設㈱・寒河江市）



▲寒河江川河川敷での草刈り作業

は「地域の景観・安全を保持するため、今後も活動を継続していきたいです」と話してくれました。

緑の募金にご協力ありがとうございました 募金総額は15万8200円に

令和4年度「緑の募金運動」が4月1日から5月31日まで実施され、西川町では総額15万8200円の募金をいただきました。集まった募金は、まがた森林と緑の推進機構で集約され、各市町村へ配分されます。

「緑の募金」は国内外の森づくり・人づくりの活動に役立てることを目的としており、



▲緑の募金を活用した花植えの様子

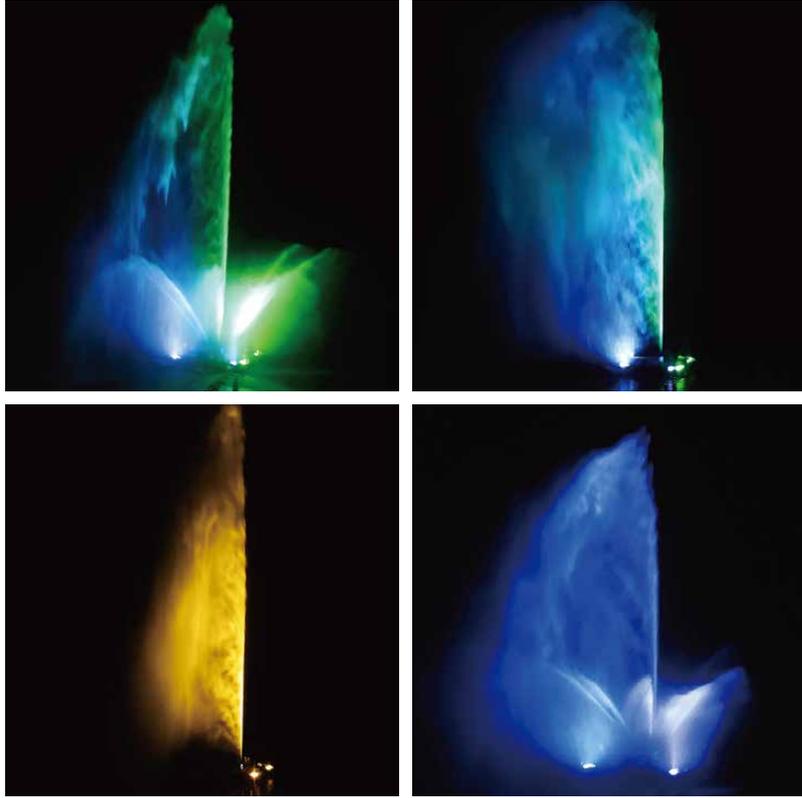
町主催の新たな結婚推進事業が始動 男女でそれぞれ「自分磨きセミナー」開催

今年度、町が主催する結婚推進事業「出会いを応援する町にしかわ」の第1回目となるイベント「自分磨きセミナー」が7月30日、町役場第二庁舎を会場に開催されました。当日は男性の部、女性の部と分かれて行われ、計14人が参加。婚活サポート事業を展開しているSolterre（ソルテール）の講師の指導のもと、それぞれ清潔感アップのための講座などが開かれました。



▲自分磨きセミナーの様子

今月の「#いいべ西川」



森林 と湖に親しむ旬間に合わせて7月23日(土)、24日(日)の2日間限定で「月山湖大噴水」のライトアップが実施されました。暗闇の湖面に日本一の高さを誇る大噴水がさまざまな色で照らし出され、幻想的な雰囲気をかもし出していました。

▶ Instagram

西川町公式アカウント「@nishikawa_town_official」



NISHIKAWA.TOWN.OFFICIAL

今月の表紙

7月23日に朝日町で開催された消防操法大会では、西川町消防団が最優秀消防団に選ばれました。消防団員の皆さま、本当におめでとうございました。詳しくは7ページをご覧ください。



編集雑記

コロナ禍の県内にさらに追い打ちをかけるように大きな爪痕を残した8月3日の豪雨。町内では、大井沢地区で避難所を開設するなどの対応がとられました。こうした災害に備え、日頃から非常用品の備蓄や避難所の確認が大切です。(板花)

西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<https://www.town.nishikawa.yamagata.jp>をご覧ください。



8/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,330人 女 2,512人 計 4,842人 世帯数 1,803 ()は前月比
(-4) (±0) (-4) (-1)